

盤種類
以原實爲名

賀茂初齋院并野宮裝束略○中

下食盤十枚各方一尺七寸料漆五升、朱砂十二兩、掃墨二升、燒土二升、油三合、質布一丈、絹六尺、綿三屯、炭一

斛、單功卅人、

〔延喜式木工三十四〕神事并年料供御

九寸盤、長功工一人、夫二人、十六枚、中功十二枚、短功十枚、八寸盤、長功工一人、夫二人、廿枚、中功十
六枚、短功十二枚、六寸盤、長功工一人、夫二人、廿四枚、中功廿枚、短功十六枚、

〔空穂物語 吹上之下〕おのこどもあつまりて、まないたたて、魚鳥つくる、かねの。さ。ら。に、北。方。の。御
れうとてもる、

〔雅亮裝束抄一〕くすりのはこ二がう、おりたておなじ事なり、一がうに、この定のつぼみつ、かねの
さらのおほきなるひとつくすりをするてつかひひとつあり略○下

〔榮花物語十九御著裳〕御前の物など、すべてぢんすわう、玄たんのをしきに、玄ろがね。こ。が。ね。の。御。さ。ら
ども略○下

〔延喜式六齋院〕齋王定畢所請雜物

膳器略○中 銀盤二口

〔延喜式十七内匠〕賀茂初齋院并野宮裝束略○中

銀盤二口

〔遊仙窟三〕鵝子鴨卵、照耀於銀盤サラ、麟脯豹胎略○註 紛綸於玉疊、

〔紫式部日記〕右衛門のかみはおまへの事、ぢんのかけばん、玄ろがねの御さらなど、くはしくはみ
す、

〔山槐記〕治承三年正月六日、持參市餅略○中 御厨子所預散位久信右衛門大夫、令盛銀盤一枚、